



土浦新能

会長 溝口 隆一 幹事 福田 昭一

- 例会場 ホテルマロウド筑波  
TEL.029-822-3000
- 例会日時 火曜日 12:30~13:30
- 事務局 土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F  
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
- ホームページ <http://tsuchiura-src.jp>
- Eメール [info@tsuchiura-src.jp](mailto:info@tsuchiura-src.jp)

2017~2018年度  
国際ロータリーテーマ



ロータリー:  
変化をもたらす

2017年9月12日 9号  
2017年9月5日 第1例会報告



地区HP



地区行事予定

- |                          |          |                                       |                              |
|--------------------------|----------|---------------------------------------|------------------------------|
| 1. 点 鐘                   | 溝口会長     | 10. 出席状況報告                            | 出席委員会                        |
| 2. 国歌斉唱<br>(君が代)         |          | 11. 卓 話<br>「新世代のためのロータリーの友」<br>月間に因んで | ロータリーの友委員会 特別顧問<br>片岡(信) P G |
| 3. ロータリーソング斉唱<br>(奉仕の理想) |          | 12. 点 鐘                               | 溝口会長                         |
| 4. 米山奨学生紹介・奨学金授与         | 溝口会長     | 13. ロータリーソング斉唱<br>(それこそロータリー)         | (司会進行 高野S A A)               |
| 5. 会長挨拶                  | 溝口会長     |                                       |                              |
| 6. 幹事報告                  | 福田幹事     |                                       |                              |
| 7. お誕生日の会員並びにご夫人のご紹介     | 親睦活動委員会  |                                       |                              |
| 8. 委員会報告                 |          |                                       |                              |
| 9. ニコニコボックス発表            | 阿部副S A A |                                       |                              |

### 本日のプログラム

「食育について」歯科医師 比企紀代美様からお話を伺います。

### 次週のプログラム

9月19日(火)の例会は、ガバナー公式訪問事前説明に引き続き「My Rotary」について鈴木常生公共イメージIT委員長の卓話です。

## 出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メイクアップ	出席訂正率
名	名	名	%	卓	卓	名	%
91	71	8	78.89	3・9	4・5・7・8	12	92.22

## 【米山奨学生紹介・奨学金授与】

溝 口 隆 一 会 長



## 【会長挨拶】

溝 口 隆 一 会 長



9月に入りました。

この1ヶ月は、最近になく天候不順が続きました。長雨と日照不足により農業をはじめ様々な業種・業界に影響を及ぼしました。

8月は会員増強月間でありました。先日、会員増強特別推進委員会を立ち上げ、今後益々会員増強に力を注いで参りたいと思います。

今月は「新世代のためのロータリーの友」月間です。

本日は、ロータリーの友委員会特別顧問の片岡パストガバナーより卓話を頂く事になっております。入会間もない会員にもわかり易い様にお話いただければと願っております。また、ここに出席の皆さんも雑念を取り払って卓話に集中して頂きたいと思っております。

今月26日には、最も大切な「ガバナー公式訪問」がございます。

私は、公式訪問とは、年に一度の「健康診断」であると解釈しております。

例会、クラブ協議会、歓迎懇親会と長時間になりますが、懇親会は、その反動でより楽しい時になるのではと思っております。

一人でも多くのご参加、ご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

本日は少し涼しいですが、もう暫くは残暑が続きそうです。この季節どうか体調を崩さぬよう、くれぐれもご自愛下さる様お願いを致しまして、9月の挨拶と致します。

## 【委員会報告】

### 雑誌活動委員会

鈴 木 昇 副委員長

今月は「ロータリーの友」月間です。本日は片岡さんから卓話をいただきます。

9月号の「ロータリーの友」の紹介をいたします。

7ページから「より身近な『友』を目指して」という記事で「ロータリーの友」の歴史などについて様々なことが書かれています。

12ページには「新企画スタート」ということで、表紙が今までの写真からイラストになり、より親しみやすいものになりました。

22ページから国際大会が開催されるトロントの紹介がされています。

53ページには「『友』に投稿しませんか」という記事が載っています。いろいろな投稿ができますので、是非、投稿してみてください。やり方がわからないなどのお問い合わせは雑誌委員会までどうぞ。ぜひ、お手伝いさせていただきます。

最後に、81ページからは「いじめのない社会をめざして」という記事になります。私も心を打たれた記事です。是非、帰宅してからじっくりと読んでいただきたいと思います。

## 会員増強委員会

小 城 毅 副委員長

幹事報告でも触れましたが、入会申込者の理事会での承認が行われましたのでご報告します。

宮本 裕一 第二映像企画 (推薦者：海田会員・稲本会員)

ご意見のある方は、会長・幹事・説田委員長までお申し出ください。

意義などなければ一週間後に自動承認となります。

## インターアクト委員会

的 場 弘 幸 委員長

幹事報告にもありましたが、明日、9月6日に溝口年度の東風高校インターアクトクラブの第1例会があります。14時25分から開始ですので、参加される方は15分前にはお集まりください。

## 【卓 話】

### 「新世代のためのロータリーの友月間」に因んで

ロータリーの友委員会 特別顧問 片 岡 信 彦 P G



国際ロータリー理事会が2015-16年度から特別月間を大きく変更したのに伴い従来4月に設定されていた雑誌月間はなくなりました。そこでロータリーの友委員会理事会の決定により9月をロータリーの友月間として新設いたしました。

現在、ロータリーの友のホームページに友の歩み、ロータリーの友月間用パワーポイントが掲載されています。誰でも閲覧できますのでアクセスしてください。

本日は友の歩みについてお話しします。

1952(昭和27)年4月、第60地区の大会が開催されました。同年7月に迎える新年度(1952-53年度)から、日本の地区は、東日本と西日本の2地区に分割されることに決定されていたので、主催者も参加者も、共に深い感慨をもって臨んだ特別な地区大会でした。この地区大会では、いくつかの問題が話し合われましたが、その一つに、日本の2地区で共通の雑誌を発行するとの決定がありました。これまで共に活動してきた日本のロータリアンが、分割されてからも緊密に連絡を取り合い、情報を共有するための機関誌として、企画されたのです。

第1回の準備会は大阪で、東京、横浜、京都、大阪、神戸の各クラブの代表者が出席して開

催されました。新しい雑誌について本格的にいろいろなことが決められたのは1952年8月16日、岐阜市の長良川河畔にあった大竹旅館での会合においてです。1953(昭和28)年1月から毎月発行すること、価格を50円とするが広告を取って100円分の内容のある雑誌とすること、名前を『ロータリーの友』とすることなどが決定されました。

また、この会合では、新しい雑誌を縦書きにするか横書きにするかで意見が分かれ、全会員による一般投票を行ったところ、2対1の割合で横書きが採用されることになりました。戦後10年もたっていなかったという時代背景を考えると、この結果は、当時のロータリアンがいかに先進的な考えをもっていたかを知ることのできるエピソードです。

創刊号は、北斎の「凱風快晴」という題の富士山の表紙です。この表紙、1月号から6月号まで、絵柄は全く同じものでした。8月・9月号は、広重の「舞子の濱」という作品で、表紙の写真や絵が毎月替わるようになったのは、創刊翌年の4月号からです。

最初、横書きでスタートした『ロータリーの友』ですが、その後、俳壇、歌壇など、横組みでは具合の悪い欄が始まり、これらを縦書きで入れることになりました。1972(昭和47)年1月号から、縦書き、横書きを分けて、それぞれに表紙をつけ、左に開けると横書き、右に開くと縦書きという形の雑誌になりました。両面が表紙になった最初の号の表紙は陣羽織で、横書きは前から見たところ、縦書きは後ろから見たところ、というように、両面表紙の特徴を生かした面白いものになっています。

1977年、標準ロータリークラブ定款第10条(現14条)の改定に伴い、公式地域雑誌(現ロータリー地域雑誌)の規定が設けられました。これにより、ロータリアンは、国際ロータリー(RI)の機関誌『The Rotarian』だけでなく、RIが指定した公式地域雑誌を購読することで会員としての義務を果たすことができるようになりました。『ロータリーの友』は、1979年7月号から1年間の試験期間を経て、1980年7月号からRI公式地域雑誌になりました。

2003年1月に創刊50周年を迎えるに当たり、これまでの良い伝統は継続しながら、新しい50年のスタートにふさわしい新鮮な『ロータリーの友』にするにはどのようにすればいいのか、2001年秋から検討に入り、2002年7月号から誌面を一新しました。

サイズをB5判(天地256ミリ×左右182ミリ)からA4変型判(天地280ミリ×左右210ミリ)に変更。カラー写真のページを巻頭にもってくるなどして、親しみやすい『ロータリーの友』を目指しました。この時、用紙もカラー写真がきれいに出るように、それまでより白い紙に替えました(2006年7月号からは、さらに白い紙に変更)。

このサイズの変更と合わせて、事務所内でのコンピューター編集に切り替えました。このことによって、それまでより自由な誌面づくりができるようになり、またコスト削減も実現しました。さらに2016年7月号からは、サイズをA4判(天地297ミリ×左右210ミリ)に変更しました。

「ロータリー地域雑誌」の要件の一つに『The Rotarian』から指定された記事を掲載しなければならないという項目があります。写真を郵送していた頃には同時掲載は不可能でしたが、IT技術の進歩に伴い、2004年1月号からは、これらの指定記事が『The Rotarian』と同じ月に掲載できるようになりました。

記事についても、毎年度見直し、新しいコーナーを設ける一方で、古いコーナーを中止したりしています。2004年11月号からは、毎月一人ずつのロータリアンを紹介する「風紋」がスタートしました。外部の記者とカメラマンによる取材記事はそれまでになかったことで、ロータ

リアンやロータリーを客観的に見た記事によって、あらためてロータリーの良さを知る機会にもなっています。その後、クラブを紹介する「手到手 クラブ探訪」、ロータリアンを職業の面から紹介する「この人 この仕事」、「わがまち……そしてロータリー」、「クラブを訪ねて」と、少しずつ形を変えながら、このシリーズは続いています。また、パズルや本の紹介のコーナーを設け、より親しんでもらえるよう工夫をしています。クラブを訪ねて欄には11月号で古河東RCが登場します。

50周年を迎えるために『ロータリーの友』をリニューアルしようと企画を立てていたときに出てきたのが、新しいメディアのインターネットとどのように共存、住み分けをするかということでした。そこで、『ロータリーの友』のホームページを開設して、インターネットというメディアにふさわしいコンテンツを入れ、印刷媒体の『ロータリーの友』との共存、住み分けを図り、日本のロータリアンの皆さまにより早く、より幅広く、より便利に情報を届けようということが決まりました。

この決定に従って、2003年7月1日、『ロータリーの友』ホームページを開設しました。ここでは全国のロータリークラブの例会一覧表、国際大会や国際協議会の速報、さらには、ロータリーの基礎知識的な資料を提供してきました。2006年秋、ガバナー会から rotary.or.jp のドメインが移譲され、ロータリーの友委員会で検討を重ねた結果、名称を『Rotary Japan』に変更、内容や画面をリニューアルして、2007年3月から新しい名前で情報提供をしています。

2010年4月に開催された規定審議会の採択によって、アメリカとカナダのロータリアンは、これまでの印刷版だけではなく、電子版で『The Rotarian』を受け取ることができるようになりました。2013年4月に開催された規定審議会では、ロータリー地域雑誌も電子版で受け取ることができるようになりました。この決定にともない、『ロータリーの友』も2014年1月号から電子版を発行しています。最新号は毎月1日に更新されます。

『ロータリーの友』の記事を、より深く、より広く、理解し活用いただくため、ホームページを『ロータリーの友』の補完に集中することになり、2016年7月1日から『ロータリーの友』ホームページ ([www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)) に戻しました。

本年度よりロータリーの友の編集長が15年ぶりに交代しました。前の編集長二神典子さんですが、2002年に編集長になり、私がガバナーエレクトの研修でアメリカのアナハイムで開催された国際協議会に出席したとき取材に来ていて初めての出会いとなりました。その後ロータリー研究会や他地区の地区大会などでお会いしていました。私が友の委員長の時には、インドの環太平洋地域雑誌委員長、編集長会議、アメリカエバンストンのロータリー本部で田中作治RI会長へのインタビュー、そして翌年世界中の地域雑誌の委員長、編集長会議がエバンストンで開催されましたので同行しました。

現在の野崎恭子編集長は2002年、当時新潟の佐野さんという私と同期のガバナー事務所の職員で、アナハイムでの国際協議会に佐野さんご夫妻の付き添いで渡米しそのとき知り合いになりました。その後ロータリーの友事務所に編集委員として入所しました。新しい編集長となりロータリーの友誌は少しずつ変化していくと思います。

友の組織は『ロータリーの友委員会』と『一般社団法人ロータリーの友事務所』の2段階へとなっています。ロータリーの友委員会はロータリー地域雑誌発行の不可欠な条件として設けられている委員会で正副委員長、RI理事、理事エレクト、特別顧問(委員長経験者)、顧問、地区代表委員、編集長により構成されています。9月号5ページに委員会メンバーが記載され

ています。顧問は東京2地区のガバナーエレクト（次年度ガバナー会の議長副議長）直前ガバナーを3ゾーンから一人ずつ選出しています。地区代表委員は34の地区から一人ずつ参加しています。

一般社団法人ロータリーの友事務所はロータリーの友の発行、運営をしています。社員、理事会、職員により構成されています。メンバーは9月号55ページに記載されています。

友委員会委員長は地区ガバナーに対し『友』発行について責任を負うと同時に、一般社団法人ロータリーの友事務所を包括的に監督します。一般社団法人ロータリーの友事務所は、編集・発行・財務の全般について責任を負っています。

ロータリーの友委員会の地区代表委員を除く常任委員と友事務所の理事は月1回の会議を持ち、予算決算・人事・編集方針などあらゆる分野について討議しています。出席者20名の中弁護士が6名、公認会計士2名の専門家集団です。理事会が終わりますと委員長・副委員長・直前委員長と編集担当理事は編集職員と今後の記事内容などについて協議します。編集担当理事はウェブやホームページも担当しますので月に何度か友事務所に足を運んでいます。

今後ともロータリーの友を読んでくださるようお願いいたします。